



熊野町立熊野第一小学校  
令和4年6月23日  
校長 青木 真智子

## あいさつ すてきだね



熊野第一小学校では、学校教育目標に向け、今年「関わり合い」をテーマに教育活動に取り組んでいます。その一つとして「挨拶や返事」をがんばっています。

5月、6月は学校にお客様が来られる機会が多く、そういったお客様からも「子供たちの挨拶がいいですね。」と褒めていただきました。

また、私は朝、3つの門を順番に回って挨拶をしています。すると、「おはようございます。」と挨拶をしながら子供たちが登校してきます。こちらまで元気になって「おはよう!いい挨拶。嬉しいな。」と声をかけます。ついでに、何人かが寄ってきて、昨日あったことや、今日の授業のことなどしばらくお喋りをしたり、一緒に校門近くのごみ拾いをしてくれたりします。朝の挨拶をきっかけに、関わりの輪がひろがっていきます。

また、できるだけ1日1回は各教室を回って様子を見ます。そんな時、私の姿を見てそっと会釈をしてくれる子がいます。声を出せないけど、挨拶の気持ちを伝えようとしてくれているんですね。その気持ちが嬉しくて、こちらこそっと会釈をします。

人との関わりの第一歩は、あいさつですね。これからも、素敵な挨拶ができる熊野第一小学校を目指していきたいと思います。

## 本校における働き方改革について

平成31年1月に文部科学省から公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドラインが出され、教職員の時間外勤務について、月45時間以内、年間360時間以内という上限が示されました。

本校の常勤教職員の勤務時間は8:15~16:45ですが、実際には、この時間をかなり超えて勤務している教職員が多いのが実態です。

限られた時間の中で、教師の専門性を生かしつつ授業づくりや、子供たちと向き合うための時間を確保し、より効果的な教育活動を継続的に進める状況を作り出す。それが、学校の働き方改革です。

子供たちに向き合う先生たちが、元気で、生き生きと働けるよう、働き方改革として、本校は次のことに取り組んでいます。なにとぞ、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

### 1 成績週間の設定

学期末に数日、成績週間として6校時をカットする期間を設けています。(1学期は7/4~6, 8)この期間に、成績整理を集中して効率よく行うことで、業務改善を図ります。年間の授業時数を適正に管理しながら実施します。

### 2 1・2学期あゆみ所見欄の廃止

1・2学期は、個人懇談会(全員実施)でお子様の日頃の学校での様子や、学習状況等を担任から保護者にお話しますので、あゆみの所見欄を記入しないこととします。3学期は個人懇談会がありませんので、所見を記入します。

### 3 木曜日課

木曜日は、掃除とがんくまタイムをなくし、日課を35分間繰り上げることで、児童下校後の業務時間を確保しています。

## 平川理恵 広島県教育長学校訪問について

5月31日に、広島県の平川教育長が本校を視察に来られました。「どのクラスも子供たちがのびのび学習し、先生たちが明るく授業を行っている。これからも、落ち着いた雰囲気の中で、話し合う目的（広げる、深める、まとめる）を明確にしながら、意欲的に発表することを目指してほしい。」とのお話を頂きました。



## プール清掃、救命救急法講習会について

6年生と職員でプール清掃を行いました。6月13日には、万が一の事態に備えた救命救急法を赤十字の方を講師に迎えて研修しました。いよいよ水泳学習がスタートします。



## ひろしま防災出前講座について

5年生が、広島県危機管理監みんなで減災推進課の方をお招きして、防災の学習をしました。臨場感のあるVR体験も行い、防災意識を高めるとともに災害への備えの大切さを学びました。



